

和曆	年	西曆
養老	1	717
天長	9	832
天德	1	957
久安	3	1147
長寬	1	1163
承安	2	1172
壽永	2	1183
建久	1	1190
建久	6	1195
建保	2	1214
正応	5	1292
元弘	3	1333
永享	12	1440
永享	12	1440
嘉吉	1	1441
文明	3	1471
大永	2	1522
大永	4	1524
天文	10	1541
天正	1	1573
天正	2	1574
天正	11	1583
天正	11	1583
天正	11	1583
天正	14	1586
慶長	6	1601
慶長	8	1603
慶長	9	1604
慶長	10	1605
慶長	14	1609
寬永	1	1624
寬永	3	1626
寬永	7	1630
寬永	8	1631
寬文	8	1668
元禄	15	1702
享保	14	1729
享保	17	1732
天明	8	1788
弘化	5	1848
明治	1	1868
明治	3	1870
明治	4	1871
明治	5	1872
明治	6	1873
明治	7	1874
明治	11	1878
大正	11	1922
大正	11	1922
大正	13	1924
昭和	5	1930
昭和	5	1930
昭和	10	1935
昭和	10	1935
昭和	15	1940
昭和	30	1955
昭和	37	1962
昭和	61	1896

平成	1	1989
平成	9	1997
平成	24	2012
平成	29	2017

出来事

泰澄 越知山をおり伊野原を経て林泉で妙理菩薩に会い白山に至る
三馬場開かれる
浄蔵の弟子神與『泰澄和尚伝記』記す
延暦寺と園城寺が対立し、白山平泉寺を延暦寺末寺鳥羽法皇の院宣出る。
平泉寺僧徒牛原荘を侵略。平泉寺の初見
大講堂落慶法要、延暦寺学僧永弁が導師。釈迦・阿弥陀・薬師・観音・不動・武沙門の仏像安置
平泉寺長吏の斎明は平氏に背く。源(木曾)義仲、藤島七郷を平泉寺に寄進する。
頼朝、藤島荘を平泉寺に寄進する
源頼朝、平泉寺領藤島荘の年貢千石を延暦寺勧学講料所とする
京都の青蓮院と梨本坊、平泉寺の長吏職を争い、後鳥羽院の院宣で青蓮院の実暹が任命される
時宗二世他阿、府中で平泉寺僧に乱暴される
平泉寺衆徒、大野郡牛原荘の地頭淡河時治と戦う。時治破れて自害する
平泉寺、火災のために焼失する
義教北陸道七か国の棟別銭を平泉寺造営費用にあてることを命じる
平泉寺と豊原寺合戦
朝倉氏、一乗谷を本拠とする。これ以後平泉寺は朝倉方となる。朝倉氏の猿楽保護もあり平泉寺から大光坊
平泉寺衆徒白山権現社殿造営のため美濃国の棟別銭と知識米の寄附求める
平泉寺で臨時祭礼があり、流鏑馬神事が奉納される
平泉寺賢聖院の充海が学頭職を顕海に譲る
一乗谷焼亡、朝倉氏滅亡する。平泉寺、本覚寺等の越前一向一揆勢に攻められたが撃退する
平泉寺の衆徒、一揆勢の立てこもる村岡山を攻撃する。宝光院等の坊主、衆徒が討死にし、平泉寺も攻撃
顕海が美濃より帰還し、平泉寺を再興する(2月)
羽柴(豊臣)秀吉、平泉寺に禁制札を与える(4月)
6月18日、川上権現を中宮に遷座。17日~18日が平泉寺祭礼日となる
長谷川弥八郎、賢聖院へ坊跡屋敷寄進。金森長近 別山の社殿を再興
福井藩主結城(松平)秀康、平泉寺に白山御供田として平泉寺村のうち高200石を寄進する
本多富正 菩提林禁制
賢聖院に菩提林寄進
結城秀康 平泉寺・白山天嶺参拝
結城秀康未亡人 大聖院・延命院・明王院等等5ヶ寺の屋敷寄進
江戸幕府 白山社領として、平泉寺村より高200石を安堵する
平忠昌、白山社領として野中村(上志比村)より高100石を寄進する
勝山藩主松平直基、白山社領として平泉寺村より高30石を寄進する
平泉寺、上野寛永寺末となる。また、一山衆徒心得を決定する
白山麓16か村と尾添・荒谷が幕府領となる
勝山藩主小笠原貞信、平泉寺村のうち高30石を安堵する
牛首・風嵐と白山領争論
白山天嶺争論 平泉寺勝訴
顕海二百年祭
白山開山千百年
神仏分離令
平泉寺の名称を廃止白山神社に 大講堂・護摩堂・千體仏堂・鐘楼、玄成院座敷及土蔵売却
寺領没収、開山堂売却
平泉寺支配の白山絶頂及白山山麓16ヶ村加賀国野能美郡に編入
白山天嶺の三社が白山比咩神社の本社に 開山堂買戻し
白山天嶺の仏體・仏具下山 牛首林西寺に預ける
平泉家(玄成院)財産を三分し、一を白山神社に、一を開山堂に、一を平泉家に附属
白山神社県社に
白山開山千二百年
『平泉寺文書』上下発刊
『平泉寺史要』発刊
旧玄成院庭園が国指定名勝となる
白山神社境内が白山平泉寺城跡として国指定史跡に 14.6h
大楠公六百年大祭
元正天皇御齒髪塔落成 顕海上人三百五十回忌
白山国定公園となる
白山国定公園が国立公園に
菩提林石畳参道が 日本の道100選に選出

平泉寺坊院跡発掘調査開始
史跡白山平泉寺旧境内 区域200hに
歴史探遊館まほろば開館
白山開山千三百年

備考

「白山(之)記」

「華頂要略」

「平安遺文」

称名寺「上素帖」

「百練抄」「平家物語」

「門葉記」

「玉葉」

「天台座主記」

「遊行上人縁起絵」

「太平記」

「立川寺年代記」

「室町家成敗寺社御教書」

「建内記」

「仮面譜」

「東山御文庫記録」

「白山神社文書」

「白山神社文書」

「朝倉始末記」

「朝倉始末記」

「靈応山平泉寺縁起」

「白山神社文書」

「白山神社文書」

「白山神社文書」

「白山神社文書」

平泉寺区有文書

『平泉寺史要』

「白山神社文書」

平泉寺文書

「白山神社文書」

「白山神社文書」

「白山神社文書」

「白山麓拾八ヶ村留帳」

平泉寺文書

『平泉寺史要』

『平泉寺史要』

『平泉寺史要』

「用留」

『平泉寺史要』

『平泉寺史要』

『平泉寺史要』

『平泉寺史要』

『平泉寺史要』

『平泉寺史要』

『平泉寺史要』

『平泉寺史要』

「記念帖」